



岡山市水道事業審議会

第67回資料

令和3年8月10日(火) 14時00分

岡山市水道局本局庁舎 3階 災害対策室

岡山市水道局

目 次

岡山市水道事業の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

岡山市水道事業総合基本計画アクションプラン前期編
5か年の見通しについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

岡山市水道事業の概要

1 事業概要

(1) 創設（通水）

1905年（明治38年）7月23日通水…全国で8番目の近代水道
平成17年に通水100周年を迎え、今年で117年目
7月23日を「岡山市水道の日」と制定（通水100周年を記念して）

【給水開始ベスト10】

①横浜市（明治20年）、②函館市（明治22年）、③長崎市（明治24年）、④大阪市（明治28年）、⑤東京都（明治31年）、⑥広島市（明治32年）、⑦神戸市（明治33年）、⑧**岡山市（明治38年）**、⑨下関市（明治39年）、⑩佐世保市（明治40年）

(2) 浄水施設

浄水場（9箇所） ①三野、②旭東、③山浦、④牟佐、【御津地区】⑤矢原、
⑥紙工、⑦宇垣、【建部地区】⑧川口、【瀬戸地区】⑨大内

【国の登録有形文化財となっている建造物】

①三野浄水場旧動力室・送水ポンプ室、②三野浄水場緩速ろ過池、③三野浄水場第一水源取水口、④半田山配水池一号配水池、⑤半田山配水池二号配水池、⑥半田山配水池三号配水池、⑦半田山配水池旧事務所、⑧半田山配水池創建量水室、⑨半田山配水池増設量水室、⑩京橋水管橋



① 三野浄水場旧動力室・送水ポンプ室



④ 半田山配水池一号配水池

(3) 給水能力

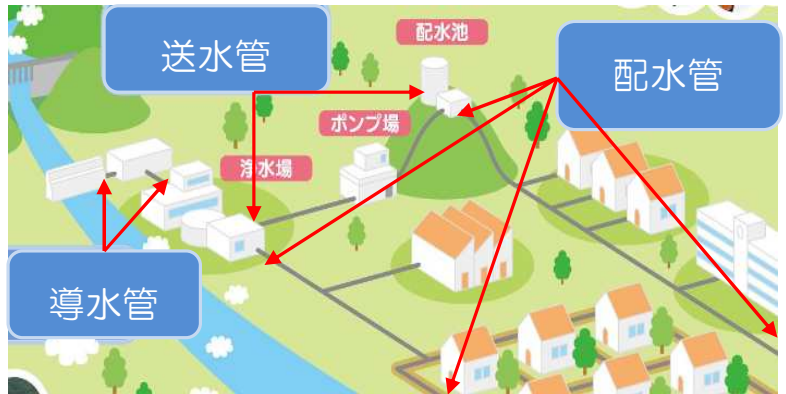
日量 344,575 m³

〔岡山県広域水道企業団 43,700 m³、
岡山県南部水道企業団 4,400 m³の受水を含む〕

(4) 導・送・配水管延長

4,382km

〔導水管 6.98 km
送水管 12.39 km
配水管 4,362.33 km
(令和2年度末)〕



(5) 工業用水道

ア 岡山工業用水道 昭和41年供給開始 7社に供給
イ 御津工業用水道 平成3年供給開始 7社に供給
〔令和3年4月1日現在〕

2 組織・機構

(1) 機構 11課2所1事業所42係

(2) 職員数 338名 (令和3年4月1日現在)

	部長級	課所名	所管事務	人数
水道事業管理者	【総務部】 次長 (総務部長兼務)	企画総務課	人事、給与、広報	23
		経営管理課	予算、決算、システム	15
		管財課	財産管理、契約、工事検査	17
		営業課	料金システム、料金請求	12
		お客様センター	検針、料金徴収	18
	【配水部】 配水部長 (水道技術管理者)	配水課	工事計画、漏水防止	24
		施設整備課	構造物、設備、基幹管路	28
		中管路整備課	管路布設、修繕	28
		東管路整備課	管路布設、修繕	29
		西管路整備課	管路布設、修繕	30
		北事業所	管路布設、修繕	7
		給水課	給水受付、指定業者	28
		浄水担当部長	浄水課	浄水処理、施設管理
水質試験所	原水検査、浄水検査		15	

組織は、水道事業管理者の下に、次長（総務部長兼務）、配水部長を置き、浄水担当部長を浄水部門に配置

水道技術管理者（技術面の責任者）に配水部長を任命

3 会計

【公営企業会計制度】

- (1) 水道事業の経費は、経営に伴う収入をもって充てる独立採算性を基本とする。
- (2) 自治体（官庁会計）の単式簿記・現金主義会計に対し、水道事業は公営企業（企業会計）の複式簿記・発生主義会計を適用している。
- (3) 岡山市水道局の会計には、水道事業会計と工業用水道事業会計がある。
- (4) 各会計ごとに、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出に分かれている。

4 事業計画

(1) 総合基本計画

平成28年11月に目標年次を令和8年度とした「アクアプラン2017」を策定。さらに、「アクアプラン2017」の4つの基本施策を実現するため、平成29年度から令和3年度までの前期5年間で実施する事業、具体的な目標を設定する「岡山市水道事業総合基本計画アクションプラン前期編」を平成29年3月に策定

【基本理念】『ゆるぎない安心と信頼の追求』

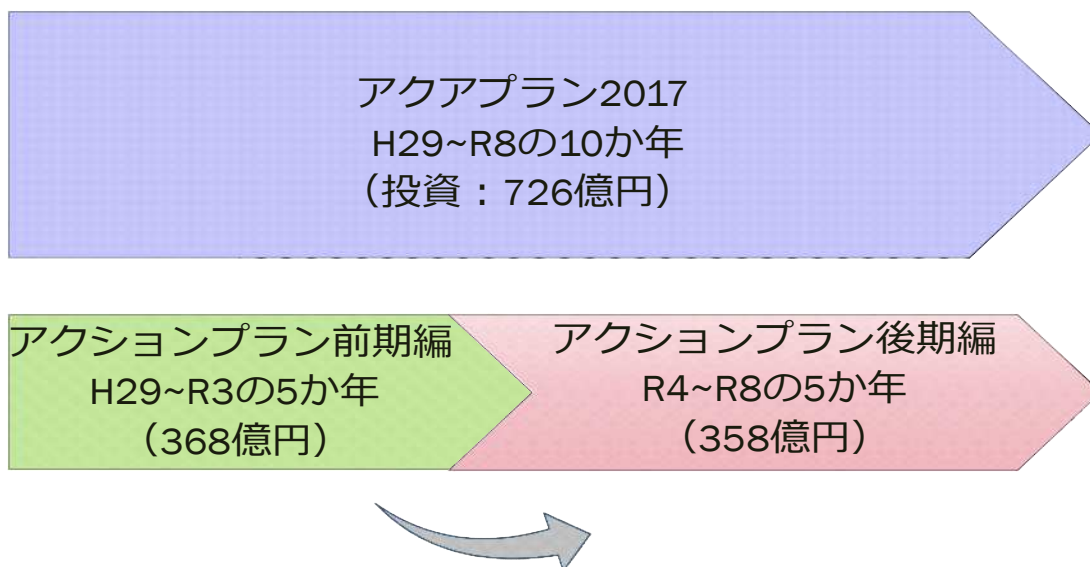
【基本施策】

■安全でおいしい水の追求

■水の安定供給と強靱性の確保

■満足度を高めるサービスの充実

■持続可能な水道システムの構築



5 他政令市との比較（令和元年度決算）

項 目	岡 山 市	政令市平均(※)	順位
給 水 面 積 (k m ²)	7 5 0 . 2 4	3 2 8 . 7 1	1
導・送・配水管延長 (k m)	4, 3 7 6	4, 7 2 1	9
給 水 人 口 (人)	7 0 6, 8 9 2	1, 4 4 8, 1 3 6	1 6
普 及 率 (%)	9 9 . 8	9 9 . 4	9
年 間 総 配 水 量 (千 m ³)	8 8, 8 5 8	1 6 7, 2 0 4	1 5
1 人 1 日 平 均 配 水 量 (㍓)	3 4 4	3 1 6	3
有 収 率 (%)	9 0 . 3	9 2 . 5	1 5
2 0 m ³ 当 たり 料 金 (円) (口径 1 3 mm)	2, 5 6 3	2, 6 4 6	8

※札幌市、仙台市、新潟市、さいたま市、横浜市、川崎市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市、岡山市 計 1 8 都市比較

【用語の解説】

給水面積	給水区域の面積
給水人口	給水区域内に居住し水道により給水を受けている人口
普及率	現在給水人口を給水区域内人口で除したもの
配水量	配水施設を通じて供給される水道水の総量
有収率	有収水量（料金徴収の対象となった水量）を配水量で除したもの

岡山市水道事業総合基本計画(アクアプラン 2017)
アクションプラン前期編(平成 29 年度～令和 3 年度)

アクションプラン前期編 5 か年の見通し

1 事業費の進捗状況

(単位：百万円)

基本施策	計画額 (H29～R3)	執行額 (R3は予算額)					進捗率 (%)	
		H29	H30	R元	R2	R3		合計
安全でおいしい水の追求	460	69	104	141	59	39	412	89.6
水の安定供給と強靱性の確保	36,929	7,373	7,090	6,750	7,559	8,245	37,017	100.2
満足度を高めるサービスの充実	44	12	22	17	37	368	456	1036.4
持続可能な水道システムの構築	437	68	75	72	81	98	394	90.2
合計	37,870	7,522	7,291	6,980	7,736	8,750	38,279	101.1

2 主な取組実績

安全でおいしい水の追求

○清浄、豊富な原水の確保 1億8,100万円

・ 水源林事業の継続実施

旭川水源地域（鏡野町、新庄村）での水源林の
 保育・整備 間伐：40.5ha 枝打：8ha

○間伐 混み過ぎた林の木を間引くこと。残す木の生育を助け、光が射し込み、下草などが茂るため、水源かん養機能や土砂流出防止機能が高くなる

○枝打 発育を促したり、節のない材木を得るために木の下枝を切りはらうこと



水源林事業/間伐の様子

・ 地下水源の監視、保全

矢原浄水場紫外線処理設備設置(H30～R元)

○紫外線処理設備 クリプトスポリジウム等の耐塩素性病原生物に作用し感染力を失わせる設備



紫外線処理設備/矢原浄水場

○水質管理体制の充実 2億3,100万円

・ 河川監視体制、水質検査体制の充実

河川監視・水質検査機器の更新

三野浄水場魚類監視装置 (H29)

ガスクロマトグラフ質量分析計 (H29、R3)

誘導結合プラズマ質量分析装置 (H30)

生物観察用顕微鏡 (R元)

液体クロマトグラフ質量分析計 (R2)



誘導結合プラズマ質量分析装置



液体クロマトグラフ質量分析計

- 誘導結合プラズマ質量分析装置 水に含まれる鉄・銅・マンガン等の金属類を測定する装置
- ガス・液体クロマトグラフ質量分析計 水に含まれる有機化合物を測定する装置。主に農薬類などを測定し、農薬の種類によって使い分けている

・ 残留塩素濃度の低減

次亜塩素酸ナトリウム注入設備 取替

4か所 (H29 2か所、R元 1か所、R2 1か所)

水質監視装置取替

4か所 (H30 3か所、R元 1か所)

- 残留塩素濃度の低減 水道法では衛生上必要な措置として、蛇口から出る水道水の残留塩素濃度を 0.1mg/l以上保持するように塩素消毒を義務付けている。一方、塩素臭を感じるとおいしく感じないため、法律の定めに近い数値での運用が理想
- 次亜塩素酸ナトリウム 水道水を塩素消毒するための消毒剤

○水質保持の取組強化

・ 貯水槽水道 (10 m³以下) の維持管理の啓発

保健所と連携して貯水槽水道設置者への貯水槽清掃を啓発するパンフレットを発送
4,000件 (H30~R3)

- 貯水槽水道 ビル、マンション等の建物で、水道局から供給されている水をいったん貯水槽に貯めた後利用者に給水する施設。保健所が施設の把握、衛生管理の普及啓発、適正な管理に関する指導を行うこととされている。貯水槽の管理は水道水の安全やおいしさに関わるため水道局も啓発に努めている



啓発パンフレット

○浄水・配水施設の計画的更新と耐震化 84億2,600万円

- ・ 三野浄水場の浄水処理工程の更新・耐震化



薬品沈殿池築造・改修 (H 2 5 ~ H 3 0)



脱水施設更新 (R 2 ~ R 5)



○脱水施設 取水した河川水から水道水をつくる工程で取り除かれた河川中の濁り（土砂）などの沈殿物を機械で圧力をかけて脱水する施設。脱水処理されたものは浄水発生土と呼ばれ、「おかやま産土」の名称で、園芸用土として再利用している

- ・ アセットマネジメントに基づき、緊急度上位の設備を優先的に更新

旭東浄水場集中監視制御設備改修 (H 2 8 ~ H 3 0)

矢坂山加圧ポンプ場装置取替 (H 2 9)

三野浄水場 4 号配水ポンプ改修 (H 3 0)

三野浄水場次亜塩貯留タンク取替 (R 元)

段原取水場取水ポンプ取替 (R 元)

三野浄水場 3 号配水ポンプ改修 (R 2)



集中監視制御設備/旭東浄水場



次亜塩貯留タンク/三野浄水場



3号配水ポンプ/三野浄水場

○水道管路の計画的更新と耐震化 270億9,300万円

・ 水道管路の更新及び耐震化

水道管更新 約 219 km
 うち老朽管更新 約 125 km
 ※管路延長 4,376 km (R2)

管路更新率 1.0%
 (前期編5か年の平均値見込)



耐震管布設工事の様子

・ 基幹管路（口径400mm以上）の更新及び耐震化

半田山線 シールドトンネル 築造 (H29～R3)
 半田山線口径1000mmの配水管布設 (R3～R4)

※半田山線 学南町(総合グラウンド付近)～岡山駅西口～大供本町(商工会議所付近)



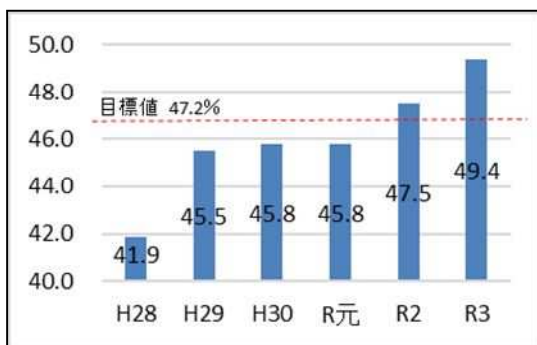
シールドマシン

○シールドトンネル シールドマシンと呼ばれる筒状の機械で土の中をゆっくと掘り進め、前方の土砂を削りとりながら、同時に後方に壁面を組み立てていく工法により構築されたトンネル

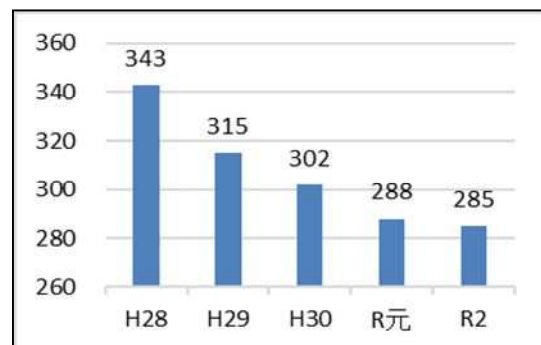
計画的な管路更新を実施



管路耐震化率は順調に**上昇**
 漏水事故件数は**減少傾向**



基幹管路耐震適合率
 ※詳細は13ページ参照



漏水事故件数

- 災害時拠点施設への水道管の耐震化**
 目標値 20 施設 (R 3) に対し、
 21 施設 (R 2) 完了
 R 3 は 1 施設完了予定
 前期編 5 か年では、市役所本庁、
 岡山県庁など 8 施設完了予定



耐震確保拠点施設数

○災害対策の推進 2億3,700万円

- 浸水対策** 止水板の設置、嵩上げ、防水扉への取替えなど
 三野浄水場 (H 2 9 ~ R 元、R 3)
 矢原浄水場 (H 2 9 ~ R 元)
 川口浄水場 (R 元)
- 停電対策** 非常用発電機の更新、設置
 矢原浄水場 (R 元)
 妹尾加圧ポンプ場 (R 2)
 横井第 2 加圧ポンプ場 (R 3)



非常用発電機/妹尾加圧ポンプ場

○危機管理体制の充実 3億5,800万円

- 防災訓練の実施**
 東京都、堺市、広島市及び倉敷市との合同防災訓練 (R 元) など、
 17 回実施 (H 2 9 ~ R 2) 令和 3 年度も 5 回実施予定
 その他、地域防災訓練に参加
- 組立式給水タンクの購入**
 13 基購入 (H 2 9 ~ R 2) 現在 15 基保有
- その他**
 東京都水道局と災害時相互応援活動に関する覚書の締結 (H 2 9)
 テレビ会議システムの導入 (本局~有人の各出先施設間) (H 3 0 ~ R 2)
 加圧式給水車の更新 1 台 (2 t クラス) (R 元) 現在 8 台保有



組立式給水タンク



加圧式給水車

満足度を高めるサービスの充実

○お客さまの利便性の向上

- 電話受付センターの開設（H29）
- 修繕対応事業者情報の提供開始（H29）
- 口座振替継続受付サービス開始（H30）
- スマートフォン決済の導入（R2）



スマートフォン決済イメージ

○お客さまとの意識の共有 4億5,100万円

・ 広報活動の継続、拡充

▶ イベント実施

- ❖ おかやま水道フェア（R2、R3は中止※）
- ❖ 水道の日フェスティバル（R2、R3は中止※）
- ※新型コロナウイルス感染症拡大によるもの
- ❖ 水・ガス・電気実験工作室

岡山ガス、中国電力とのコラボ企画

▶ 小学校、公民館等での出前講座

79回実施 参加者3,250人（H29～R2）

▶ 広報紙の発行（年2回）

全戸配布「水道局だより」 災害時の給水場所、水道管の防寒対策、イベントほか

▶ SNSを利用した情報発信 年間60回程度発信

▶ ホームページのリニューアル（R元）

▶ 水道記念館耐震補強、展示物更新（R2～R3）



おかやま水道フェア/岡山ドーム



浄水実験の様子/出前講座



天井に鉄骨ブレースを新設
/水道記念館の耐震補強

・ 広聴活動の継続・拡充

岡山市水道に関する意識調査（R2）

対象者：市内在住の20歳以上3,000人

回答者数：1,647人（54.9%）

○経営基盤の強化

・ 企業債借入残高の縮減

将来の財政負担の軽減及び
財政基盤の強化（平成28年度と
比較し19億円の減）

※借入残高のピーク（平成12年度）

企業債残高 384億円

企業債利息 17.3億円



○ 企業債 地方公営企業の建設、改良などに要する資金にあてるために発行する地方債

○組織づくりと職員の能力向上 3,400万円

・ 研修の充実と人材育成

▶ 局内技術研修

（維持管理、応急給水ほか）

▶ 局外研修

（基礎講座、漏水防止、
水道施設耐震技術等）



応急給水訓練/水道技術研修所
（高所への加圧給水）

○関係者との連携と国際協力

・ 広域連携の検討

▶ 緊急用資材の共同備蓄、料金徴収等業務の共同委託、薬品（水道消毒用塩素）の共同購入を検討（岡山県広域連携推進検討会南東部会）

▶ 県が令和4年度末までに策定する水道広域化推進プランの内容等について県内事業者と協議（岡山県広域連携推進検討会）

○ 広域連携 水道事業の基盤強化を目的に市町村の区域を超えた連携を行うこと。経営統合、施設の共同設置・共同利用、管理の一体化などの手法がある

○ 南東部会 岡山市を部会長とし、備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・県広域水道企業団で構成

○ 水道広域化推進プラン 水道事業の持続的な経営を確保するために、中長期の経営見通しに基づく経営基盤の強化を進めるための計画

○環境負荷の低減 3億5,900万円

- 水道施設の省エネルギー化

22か所のポンプ設備を高効率機器に更新（H29～R3）



省エネルギー機器の導入率
※詳細は19ページ参照

- 漏水防止事業の継続実施

漏水箇所を発見する漏水調査や事前に漏水を防止する老朽管更新の継続実施



漏水調査/夜間作業の様子



有効率
※詳細は19ページ参照

○ 有効率 有効に使用された水量の割合のことで、主に漏水量を除いた割合

3 評価指標の達成状況（R2）

評価指標の達成状況は「達成」と「未達成」の2区分で評価し、

「達成」が19項目、全体として概ね順調に推移

「未達成」の6項目については、点検して指標の改善を行う

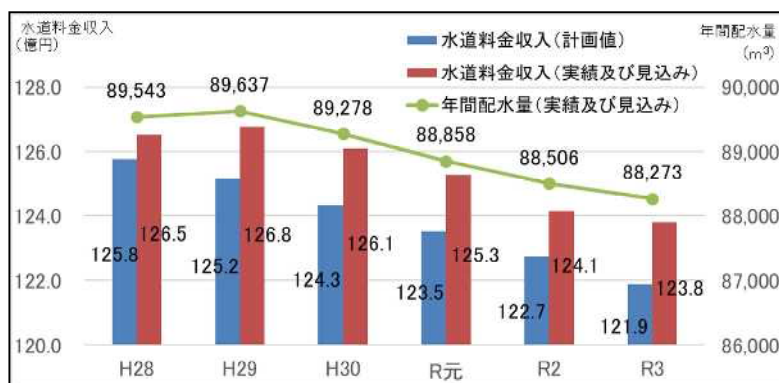
※個別指標の詳細は別紙参照

評価	件数（件）	比率（%）
達成	19	76%
未達成	6	24%
合計	25	100%

4 財政収支の状況

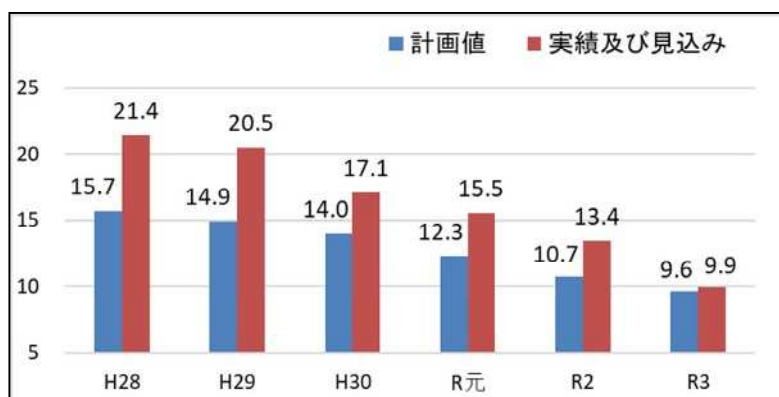
○年間総配水量及び水道料金収入

- ・年間配水量は減少傾向
- ・水道料金収入は計画値を上回るが、減少傾向



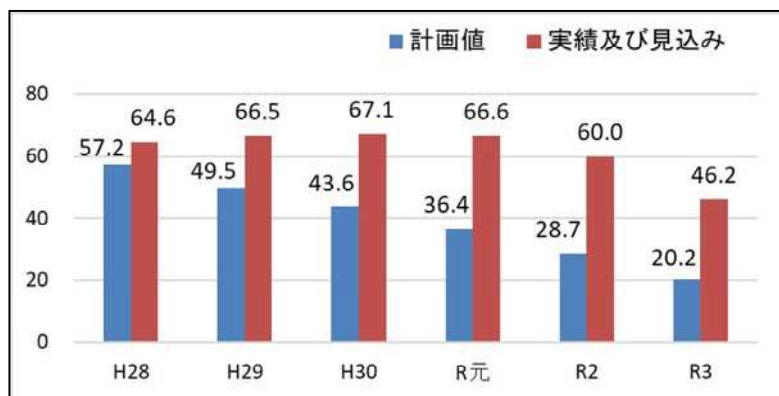
○純利益

- ・純利益は計画値を上回るが、水道料金収入の減少と減価償却費の増加により減少傾向



○内部留保資金

- ・計画値と比較すると、内部留保資金の減少は緩やか
- ・計画値との乖離の要因は水道料金収入の増、修繕費など物件費の減、企業債支払利息の減など



5 事業経営の努力

○事業費用の削減

- ・ 管路のダウンサイジング

48.8 kmの管路のダウンサイジングを実施し、14.9億円の事業費を削減

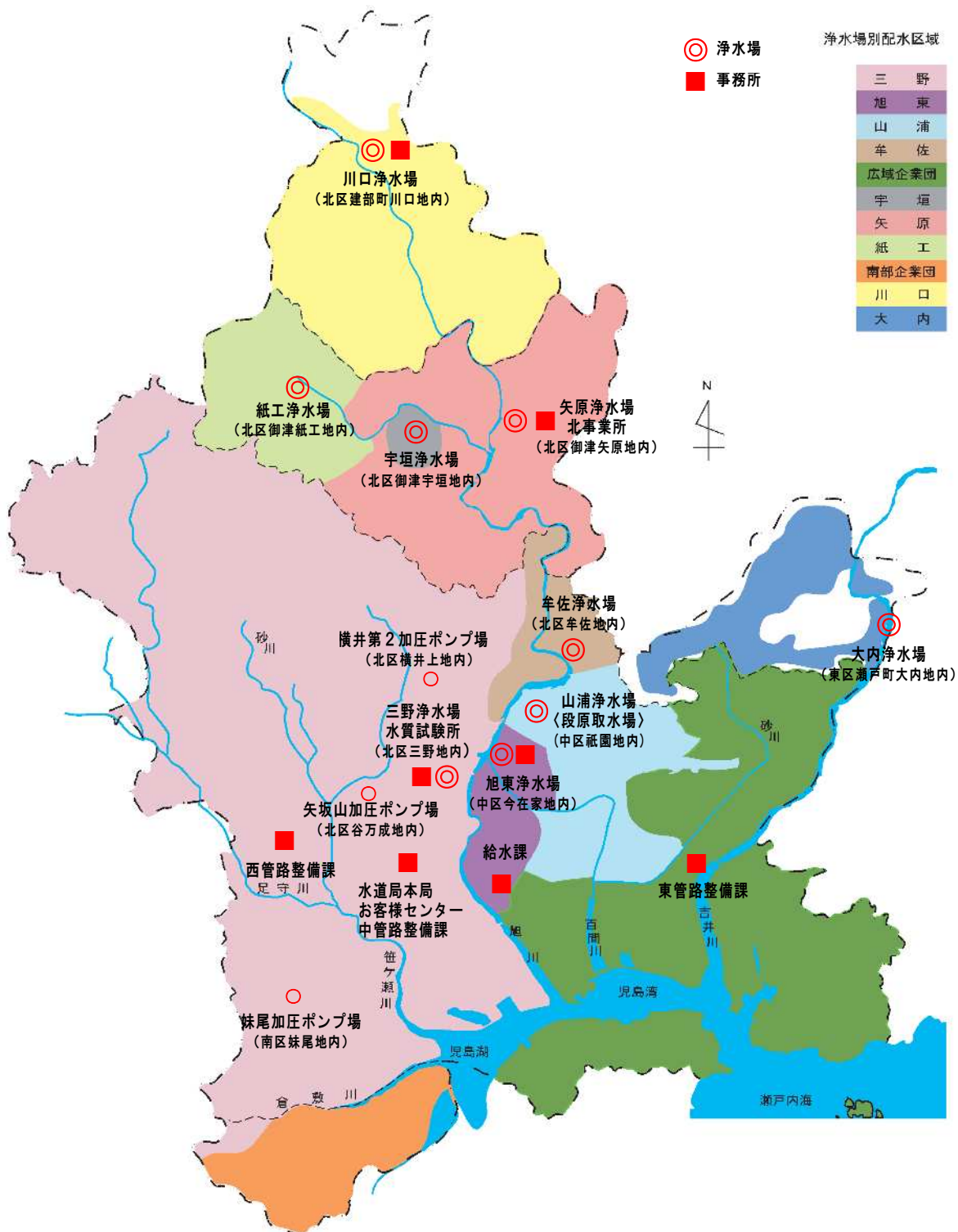
○ 管路のダウンサイジング 管路更新の際に、給水需要をもとに管路口径の小口径化を実施する。

- ・ 電話受付の委託化による人件費の減

9人の職員を削減し、累計1.1億円の人件費を削減

6 後期編5年に向けて

人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響による水道料金収入の減少、工事・材料費の高騰など課題はあるが、震災等に備え、水道施設や管路の更新を進める



アクションプラン前期編 評価指標 5か年の見通し

施策柱	評価指標	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	評価	
1 安全でおいしい水の追求	① 水源林の間伐面積	目標 (単年値)	5.5ha	7.5ha	7.5ha	13ha	13ha	○	
		実績	5.0ha	作業中止	7.5ha	15ha	13ha		
	《間伐》混みすぎた林の木を間引くこと。残す木の生育を助け、光が射し込み、下草などが茂るため、水源かん養機能や土砂流出防止機能も高くなる。								
	② 水道GLP認証の継続	目標	中間検査			更新		中間検査	○
		実績	継続	継続	更新	継続	継続		
	《水道GLP》水道水質検査優良試験所規範の略称（優良試験所規範：Good Laboratory Practice）。水質検査は、需要者が直接口にする水の安全性を確認することが目的であるため正確かつ高い精度、高い信頼性の保証が求められる。水質検査の信頼性を保証する認定制度。								
	③ かび臭原因物質の目標値（5ng/L以下）達成率	目標 (単年値)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○
		実績	100%	100%	100%	100%	100%		
	④ 平均残留塩素濃度	目標 (単年値)	0.44mg/Lより低下	低下	低下	低下	0.43mg/L		○
		実績	0.43mg/L	0.43mg/L	0.42mg/L	0.40mg/L	0.40mg/L		
《残留塩素》水道法施行規則第17条は衛生上必要な措置として、蛇口から出る水が残留塩素0.1mg/ℓ以上保持するように塩素消毒をすることを義務づけている。一方、塩素臭を感じるとおいしくなく感じるため、法律の定めに近い数値での運用が理想。									
⑤ 直結給水方式の新規及び切替件数	目標 (単年値)	169件より増加	増加	増加	増加	増加	185件	○	
	実績	167件	158件	176件	186件	186件			
《直結給水方式》3階までの建物での各部屋への直圧給水や、4階以上のマンションなどで増圧ポンプ（個人設置）による各部屋への加圧給水のこと。貯水タンクが不要となり、タンク清掃の手間がいらす、水質の劣化を防ぐ。									
2 水の安定供給と強靱性の確保	⑥ 三野浄水場脱水処理施設の更新・耐震化事業進捗率	目標 (累積値)	計画作成	16%	37%	61%	100%	×	
		実績	計画済	0%	0%	23.8%	64.8%		
	【未達成理由】三野浄水場の場内整備工事との調整により発注を見送ったため。								
《脱水処理施設》浄水処理の過程で生ずる泥を処分するために脱水する施設									
⑦ 電気・機械設備の更新事業進捗率	目標 (累積値)	20%	40%	60%	80%	100%	×		
	実績	25%	37%	58%	68%	100%			
【未達成理由】入札不調、納期遅延等により予定していた工事が繰越、先送り、発注取り止めとなったため。									

R3年度は見込値
R2年度の結果をもとに評価（「○」達成、「×」未達成）

施策柱	評価指標	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	評価	
2 水の安定供給と強靱性の確保	⑧ 配水池の耐震化率	目標 (累積値)	58.6%	58.6%	58.6%	60.2%	63.3%	○	
		実績	59.7%	60.6%	60.6%	60.6%	60.6%		
	【未達成理由】大内浄水場廃止及び企業団受水の整備事業で、耐震化予定の配水池を特定調整池に変更したため。								
	⑨ ポンプ場の耐震化率	目標 (累積値)	48.8%	49.2%	49.2%	49.2%	49.2%	○	
		実績	49.1%	51.8%	52.0%	52.0%	52.0%		
	⑩ 合併地区浄水場の再編等進捗率	目標 (累積値)	2%	17%	37%	57%	100%	×	
		実績	1%	8%	25.5%	42.2%	60.3%		
	【未達成理由】大内浄水場廃止及び企業団受水の整備事業で、特定調整池を築造することとなり、事業の総額が大きく増えたため。（実績値の算出方式：事業の実施済額/事業の総額）								
	⑪ 老朽管更新延長	目標 (累積値)	25km	50km	75km	100km	125km	○	
		実績	29km	54km	78km	103km	125km		
	⑫ 管路耐震管率	目標 (累積値)	15.2%	16.3%	17.5%	18.5%	19.6%	○	
		実績	15.3%	16.3%	17.5%	18.5%	19.5%		
	⑬ 基幹管路（口径400mm以上）耐震適合率	目標 (累積値)	42.8%	43.5%	44.6%	45.8%	47.2%	○	
		実績	45.5%	45.8%	45.8%	47.5%	49.4%		
	《耐震適合》耐震適合性のある管とは、耐震管（継ぎ目の接合部分が離脱しない構造となっている管）に、耐震管以外でも現地の地盤を考慮して耐震性があると評価できた管を加えたもの 《計算式》基幹管路の耐震管及び耐震適合管の延長/全基幹管路延長×100								
⑭ 耐震確保拠点施設数	目標 (累積値)	16施設	17施設	18施設	19施設	20施設	○		
	実績	18施設	19施設	20施設	21施設	22施設			
《耐震確保拠点施設》浄水場や配水池から当該施設に至る管路が耐震化されている、災害時に拠点となる施設									
⑮ 災害時確保水量	目標 (累積値)	49,690m ³	49,690m ³	49,940m ³	49,940m ³	51,440m ³	×		
	実績	49,690m ³	49,690m ³	49,690m ³	49,690m ³	49,690m ³			
【未達成理由】大内浄水場廃止及び企業団受水の整備事業で、緊急遮断弁設置予定の配水池を特定調整池に変更したため。									
《災害時確保水量》災害時の大規模漏水で水の消失を防ぐために、配水池構造を2層化（2池化）し、震災時に緊急遮断弁で一方の水を確保している。その他、耐震性緊急貯水槽（西大寺緑花公園100m ³ 、水道局本局20m ³ ）により常時、確保している水量。									

R3年度は見込値
R2年度の結果をもとに評価（「○」達成、「×」未達成）

施策柱	評価指標	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	評価	
2 水の安定供給と強靱性の確保	⑯ 災害時の燃料確保日数	目標 (累積値)	0.80日分	0.84日分	0.84日分	0.84日分	0.85日分	○	
		実績	0.80日分	0.80日分	0.84日分	0.84日分	0.84日分		
	⑰ 浄水場浸水対策数	目標 (累積値)	2か所	4か所	5か所	5か所	5か所	○	
		実績	2か所	2か所	5か所	5か所	5か所		
	⑱ 市街地の小ブロック化数	目標 (累積値)	2か所	4か所	4か所	4か所	10か所	○	
		実績	2か所	8か所	16か所	27か所	34か所		
《市街地の小ブロック化》配水区域を小規模に分割して管理することで震災や事故時に断水区域を最小限に抑える。さらに、早期復旧にも寄与するもの。									
3 満足度を高めるサービスの充実	⑲ (受付業務に関する) お客さまの満足度	目標 (単年値)	77.4% より上昇	上昇	上昇	上昇	80.0%	○	
		実績	意識調査 無し	意識調査 無し	意識調査 無し	80.1%	意識調査 無し		
	⑳ 料金収納率	目標 (単年値)	91.1% 以上	91.1% 以上	91.1% 以上	91.1% 以上	91.1% 以上	×	
		実績	91.1%	91.2%	91.1%	90.7%	90.7%		
	【未達成理由】新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支払猶予措置の影響等によるもの								
	㉑ SNSを利用する 情報発信回数	目標 (単年値)	60回/年 以上	60回/年 以上	60回/年 以上	60回/年 以上	60回/年 以上	○	
実績		72回/年	64回/年	60回/年	62回/年	62回/年			
《SNS》Facebook（フェイスブック）、Twitter（ツイッター）など、個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援することを目的としたインターネットを利用するサービス。									
㉒ 出前講座実施回数	目標 (単年値)	10回/年 以上	10回/年 以上	10回/年 以上	10回/年 以上	10回/年 以上	○		
	実績	10回/年	14回/年	25回/年	30回/年	30回/年			
《出前講座》水道に関する理解を深めることを目的に、小学4年生を対象とした水道出前講座に加え、公民館等で行う大人向けの水道出前講座を実施した。									

R3年度は見込値
R2年度の結果をもとに評価（「○」達成、「×」未達成）

施策柱	評価指標	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	評価	
4 持続可能な水道システムの構築	⑳ 企業債借入残高	目標 (累積値)	249億円	246億円	242億円	237億円	232億円	○	
		実績	237億円	236億円	227億円	224億円	223億円		
	㉑ 省エネルギー機器の導入率	目標 (累積値)	48.4%	50.1%	52.4%	53.4%	54.1%	×	
		実績	48.8%	49.3%	52.4%	52.5%	53.5%		
	【未達成理由】入札不調、納期遅延等により予定していた工事が繰越、発注取り止めとなったため。								
	《省エネルギー機器の導入》取水、送水、配水のために使用されるポンプの省エネルギー機器化 《計算式》省エネルギーポンプの能力/全ポンプの能力×100								
㉒ 有効率	目標 (単年値)	92.2% より上昇	上昇	上昇	上昇	93.1%	○		
	実績	92.9%	92.8%	92.7%	93.3%	93.3%			
《有効率》年間有効水量÷年間配水量×100。有効水量とは有効に使用された水量のことで、主に漏水量を除いた水量。									

R3年度は見込値
R2年度の結果をもとに評価（「○」達成、「×」未達成）